（在ジュネーブ国際機関日本政府代表部　大使）外務事務官　志野　光子
（同　公使）同　長岡　寛介
（同　参事官）同　松原　哲也
国際労働機関第百六回総会日本政府代表代理を命ずる
期間は平成二十九年六月三十日までとする（各通）
（自治行政局公務員部公務員課長）総務事務官　谷　史郎
（国際協力局地球規模課題総括課専門機関室長）外務事務官　永澤　浩之
（内閣人事局調査官）内閣事務官　馬場　奈美
（職業安定局総務課首席職業指導官室中央職業指導官）厚生労働事務官　中込ひとみ
（大臣官房国際課国際労働・協力室室長補佐）同　西川　誠明
（大臣官房国際課課長補佐）厚生労働技官　永井　悠以
（自治行政局公務員部公務員課課長補佐）総務事務官　中井麻祐子
（職業安定局雇用政策課課長補佐）厚生労働事務官　上村　有輝
（職業安定局雇用開発部障害者雇用対策課課長補佐）同　髙澤　航
（大臣官房国際課国際労働・協力室室長補佐）同　領五　有希
国際労働機関第百六回総会日本政府代表顧問を命ずる
期間は平成二十九年六月三十日までとする（各通）
（一般社団法人日本経済団体連合会雇用政策委員会国際労働部会部会長）　得丸　洋
国際労働機関第百六回総会使用者代表に指名する
期間は平成二十九年六月三十日までとする
（日本労働組合総連合会事務局長）　逢見　直人
国際労働機関第百六回総会労働者代表に指名する
期間は平成二十九年六月三十日までとする
（一般社団法人日本経済団体連合会労働法制本部参事（ＩＬＯ理事））　松井　博志
国際労働機関第百六回総会使用者代表代理に指名する
期間は平成二十九年六月三十日までとする
（日本労働組合総連合会参与）　郷野　晶子
国際労働機関第百六回総会労働者代表代理に指名する
期間は平成二十九年六月三十日までとする
（一般社団法人日本経済団体連合会労働法制本部上席主幹）　森田　清隆
（一般社団法人日本経済団体連合会国際協力本部兼労働法制本部主幹）　野村　良寿
（一般社団法人日本経済団体連合会労働法制本部本部員）　有吉　信之
国際労働機関第百六回総会使用者代表顧問に指名する
期間は平成二十九年六月三十日までとする（各通）
（日本労働組合総連合会顧問公益財団法人国際労働財団理事長）　南雲　弘行
（日本労働組合総連合会総合国際局長）　元林　稔博
（電気連合中央執行委員）　中村　貴征
（公益財団法人国際労働財団タイ事務所副所長）　大辻　由起
（日本労働組合総連合会国際局局長）　平川　秀行
（日本労働組合総連合会雇用対策局次長）　佐藤　和幸
（日本労働組合総連合会労働法制対策局部長）　渡辺　温子
（日本労働組合総連合会国際局部長）　伊古田隆一
（日本労働組合総連合会国際局職員）　渡壁　麻希
国際労働機関第百六回総会労働者代表顧問に指名する
期間は平成二十九年六月三十日までとする（各通）
（以上五月三十日）

叙位・叙勲

○叙位

正五位に叙する（各通）　太田　勝義　林　哲郎
従五位に叙する（各通）　下條　貞美　常田　信長　若林　吉男
従六位に叙する（各通）　安藤　秋義　稲原　博　大戸　幸吉　鯉渕　要　手塚　喜市　満吉　生夫
正六位に叙する（各通）　赤星嘉代一　江原　省吾　小暮　一之　崎濱　秀三（検察事務官）
従六位に叙する（各通）　金井賢一郎
正七位に叙する（各通）　吉田八十次
従七位に叙する（以上四月二十四日）　伊藤　英郎　羽生　育雄　田口　富義
正五位に叙する　一條　岳汎
従五位に叙する（各通）　内田　洋　大和田隆人　工藤　壽生　小泉　博　清水　和雄　中込　近雄　横田子之二
正六位に叙する（各通）　菊地　宣之　久保田　昭　田中　博　原田　清治
従六位に叙する（各通）　大津　秀夫　下田　達彦
正七位に叙する（各通）　平岡　義信
従七位に叙する（以上四月二十五日）　今井　信武
正五位に叙する（各通）　伊藤　初男　正八位
従五位に叙する（各通）　岩川　博水　内海　利男　橋本　拓治　平野　三好　持留　正武　藪内　慶招
正六位に叙する（各通）　池本　徳全　石川　文敏　佐藤　武二　佐藤　正之　野井　新造　松尾　勝利
従六位に叙する（各通）　稲益　満　今村　福政　塩原　照正　菅原　正彦　松下　英元
正七位に叙する（各通）　大石　義男　須崎　英徳　谷中　久栄　山田　二郎　柏崎　善一　尾原　晃次　小林　久美　眞部　勝　松下　正雄　山本　修　吉川　宏　高山　昇平　山本　清治　富田　政雄　高橋　節治　新田　邦治　深川　隆夫　川口　勝良　田野　竹松　村田　鐵男　小野　章三　松坂　勝夫
大和田昭夫　古屋　敏雄　藤原　和男
従七位に叙する（各通）（以上四月二十六日）　大麻　治郎　北村　信行　城戸　新一　橋本　六男　長谷川好尚　宮脇　司　三好　昭二
従六位に叙する（各通）　池田　弘之　尾畑　芳通　國友　正　鳥井　紀宏
正七位に叙する（各通）　猿渡　輝雄
従七位に叙する（以上四月二十七日）　天野　忠義
従五位に叙する　榮山　喬善　岡島　章雄　加藤　任咲　志田　湛　原　篤正　樋口　輝明
従六位に叙する（各通）　大久保倉雄　竹島　秀雄
正七位に叙する（各通）（以上四月二十八日）　田宮　孝一
正六位に叙する（四月二十九日）　山田　篤
従七位に叙する（四月三十日）　小森谷光次
従五位に叙する（五月一日）
○叙勲
旭日中綬章を授ける　太田　勝義　三宅　博　満吉　生夫
旭日小綬章を授ける
旭日双光章を授ける　白石　喬　千島　成一　円藤　章　宮本喜一郎　中澤　正雄（各通）（以上四月二十四日）　細谷　孝雄　関森　勝正（各通）（四月二十六日）　若林　吉男
旭日単光章を授ける
瑞宝小綬章を授ける　金井賢一郎　鯉渕　要　小暮　一之　常田　信長
瑞宝双光章を授ける（各通）　矢吹　成行
瑞宝単光章を授ける（以上四月二十四日）　久保田　昭　羽生　育雄
瑞宝小綬章を授ける（各通）